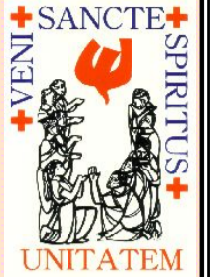


主な記事

2面 諏訪司教叙階特集  
5面 ひと、パウロ神父巡礼  
ドミニコ会神の母修道院移転  
浜口末男司教叙階  
6面 医療のともしび、震災支援  
パイプオルガンコンサート  
教区スケジュール

# カトリック 高松教区報

2011年7月31日(第143号)  
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会  
〒760-0074 高松市桜町1-8-9  
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484  
Email  
教区:catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp  
広報:tk-koho@mxi.netwave.or.jp  
生涯養成:yousei@takamatsu.catholic.ne.jp  
WEB http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

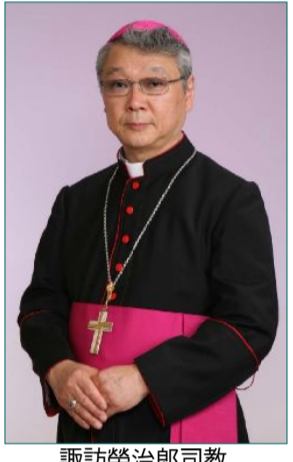


## 諏訪榮治郎司教が叙階・着座

### 教区の「再生と一致」歩む 全国から千人 門出へ共に祈り

諏訪榮治郎司教の叙階式が六月十九日桜町教会で池長潤大司教の司式で行われた。式には教皇庁大使をはじめ司教団、修道者、信徒ら約千人が出席、新司教の門出を祝い共に祈りを捧げた。出席者からは新司教への励ましとともに、この七年間教区のために汗を流し苦労された溝部司教への感謝とねぎらいの思いが再三にわたり表された。

### 溝部司教へ感謝とねぎらい



諏訪榮治郎司教

着座した諏訪司教は新たな紋章のテーマに『聖霊による一致』を願い、教区の『再生と一致—その光と喜び』を掲げた。「聖霊来てください あなたの光の輝きで私たちを照らしてください」の祈りとともに、式は入祭の歌『われ神をほめ』の大合唱で始まり、厳粛な雰囲気の中で進められた。叙階の儀では教皇庁大使から新司教の任命書が読み上げられた。説教に立った大阪教区の松浦悟郎補佐司教は「現教皇はヨハネ・聖体拝領の後、祝典に移りかわいの子供

パウロ二世のぬきんでたところは、病を負っても最後までキリストの望まれる『岩』であり続けたということだと語っていた。諏訪司教も司教職という重荷を負って、うまくいかない時も失敗してもいつもゆるぎない主への信頼をもってイエスの『岩』であり続けてください」と励ました。続いて、司教団と一致し、従順、神の民を救いに導くよき牧者である事など受階者の約束がなされた。

そして池長大司教、教皇庁大使、前任の溝部司教が新司教の頭に手を置いて按手、出席のすべての司教も続いた。その後、福音書、指輪、ミトラ(司教帽)、バクルス(牧杖)が授与され、諏訪司教が初めて高松教区カテドラルの司教座に着座すると会場から大きな拍手がわき起こった。

### 神さまの計らい感じました



自分の歩みを重ねることが出来たら、との思いで、このテッサンを毎日眺め続け三十年を経たある日、土佐の浦戸湾でフィリップの話しを聴きました。なんと四百年前、彼はメキシコでの司教叙階目前の帰国の途上、暴風雨に見舞われ船は想像だにしていなかった浦戸湾に漂着したのです。なんと彼は高知で私が見ている山を、川を見たのです。遠く思っていた彼の距離が一気に縮まり身近に感じています。想定外の道が備えられ歩むことになったのです。

### 司教は教会一致のしるし

朝と昼は太陽の光が、夜はランプの光が実に美しい聖画を映し出してきていました。どこかの教会で大切に頂けて頂けることを願って。そしてこのたび、桜町で再会し司教叙階を受けました。いま司教

からの花束贈呈に続き四国をはじめ全国からの修道者、教会代表、信徒らの霊的花束などが贈られた。続いてアルベルト・ボツタリー・デ・カステッロ駐日教皇大使が『叙階は大きな喜びです。歴史的にも大きな出来事です。使徒職は二千年の間イエスを通して司教から司教へ受け継がれてきています。この教区の統治を委任しましたので信徒も喜んで従うように勧めます』と祝いの言葉を述べ、前任の溝部司教へ苦労の

多かった七年間へ『ご苦労さま』とねぎらいの言葉がかけられると会場からひととき大きな共感の拍手がわいた。司教団、教区司祭団、修道者、信徒の各代表のお祝いの言葉、祝電披露の後、諏訪新司教があいさつし感謝の言葉を述べた後『私はこれからの教区の歩みを溝部司教様のように「教区の再生と一致」の道を行んでゆきたいと思っています。溝部司教様からはバクルス(牧杖)をいただきました。これまで教区に尽くされたご苦労に感謝しています。紋章には「聖霊来てください、一つにしてください」という願いが示されています。司教が受け継ぎ、引き継がれてきたものがUの字に配置された神の民へ信仰の継承として表されています。四つの赤い十字架が四国四県を示しています。体は震えています。心にはまだ不安があります。ふさわしくない者なんです。でもすべては神の手の中にあったという言葉(詩編)を信頼し喜びをもって第一歩を踏み出します。これから奉仕するものとして一緒に歩ませてください』と語り、励ましの暖かい拍手が会場いっぱい響いた。



池長大司教からバクルスを授与される諏訪新司教(左)

会場に入りきれない人々は聖堂周辺数ヶ所のテレビ画面を前に式に参加した。カテドラル周辺は華やかな祝賀ムードにあふれていた。

### 諏訪榮治郎司教

また阪神淡路大震災でほぼ全壊した神戸の中山手教会が「新しい教会」へと生き直すために、感謝のうちに教会の閉鎖を宣言し、ステンドグラスをはずしました。(戦後パリで作られたこのステンドグラスだけはほとんど無事でした)

と数週間を経て、しみじみと神さまの計らいを感じています。「人生の主人公は神である」との思いを大切にしたいと思っています。「VENI SANCTE SPIRITUS(聖霊来て下さい)」と祈りたいと思います。司教叙階式にはたくさんの方々の参列を頂きました。「本当に暖かい式で、皆さんが幸せをいただけて祈っている姿に感動しました。」と多くの未洗者の方々がメールを寄せて下さいました。イエス様の心がいたるところにあふれていました。式に向けて朝に夕に祈って下さった教区の皆様、また準備に携わって下さった方々の全身全霊を尽くしたご協力ご配慮に心から感謝いたします。「どんな教会になりたいのですか」これは私たちの教区宣教大会のテーマです。ヒントを頂いた気がします。四国は仏教の心がしみこんでいる社会だと思えます。「大工は大工をしながら大工になる」とこのことを教会に置き換えるとすれば、どのようになるのでしょうか。教会が社会の中でイエス様の「幸い」を表し続ける「光に塩に」なれたらと思います。「司教は教会の一致のしるしである」(ヨハネ・パウロ二世)とあります。「教区の再生と一致」の歩みを一緒に一歩二歩と歩み込んでいきたいと思えます。「あなたの方で良き業を始められた方が完成へと導いてくださいますように」パウロの言葉です。

### はばたき

梅雨の晴れ間、新緑に紫陽花の青や紫、ピンクの花が美しく映える六月十九日、諏訪新司教様の叙階式が司教座聖堂で荘厳に執り行われました。

大司教様、司教団、司祭団、修道者、信徒たち約一千名が心を一つにして新司教様を喜び迎え、「聖霊来てください」と祈るなか、新司教様の力強く美しいお声が聖堂中に響き渡ると、会衆はそのお姿とお言葉にすっかり魅了されてしまいました。

教区はこの日、新しい牧者のもと若返り、力に充ちて新たに「再生と一致」を目指して歩み初めたのです。溝部司教様への惜しみない拍手も心温まるものでした。聖堂内はこのひととき、震災のことも忘れて感動に浸っていました。

主よ、私たちに善い牧者をお送りください。たとえ感謝致します。諏訪司教様、高松教区をどうかよろしくお願い致します。

もうすぐ聖母被昇天祭です。終戦記念日でもあるこの日、聖母と今年五月一日に列福された福者ヨハネ・パウロ二世教皇に、新司教と高松教区と被災者のためとりなしをお願いしたいと思います。

# 司教叙階おめでとございます



叙階の祈り



按手された諏訪司教様、聖霊の力に活かされて生きる私達と共に一致へと力強く歩んでください。  
鳴門教会・三原千栄子

笑顔絶やさぬ、気さくな司教、期待してます、ギターにも。  
阿南教会・渡部康雄



着座直後の諏訪司教



退堂



任命書の朗読



祝賀パーティーにて



叙階式後参列者と

「司教館の窓から」を読ませてもらっている。東日本大震災で大きな被害が地震・津波で肉親を失い更に原発の事故と、三重苦、四重苦に大変な思いをしている被災者の上に思いを致したい。仙台教区の平賀徹男司教はじめ、司祭修道者、難を逃れた信徒の方々、それ以上にこの人たちのために祈ってられる溝部司教の心中は察するに余りある。このたびはかつて仙台教区を去るとき、仙台教区の信徒の皆さんから贈られた“プリウス”を仙台教区にお返しし、役立ててもらおうのが嬉しいことだ

## 微笑返し

と仰る。後のご自分の不自由は思いの外だ。ならば今度は何が何かを考えるべき番ではなからうか。溝部司教が退任後何処に住まわれようが必要なのは足る。この高松教区の難題解決のため着座されて7年余、その間のご苦勞は大変なものであった。残された業績も多い。この小さな教区から二人も新司教誕生の快挙は歴史に残るだろう。溝部司教のご意志に添うよう新司教の下で一致して高松教区を盛り上げていきたい。

中島町教会 岡副俊雄



退堂時お母様(左)と



会館2階会場

六年前にわたしたち江ノ口教会の羊飼いと高知に生まれ喜びと哀しみをいつも共に受け止め、導いてくださいましたことを心から感謝申し上げます。時には歯がゆい思いをされたこともお有りだったことでしょうか。江ノ口教会にとってシャローム(初金曜日ミサ)は特に心に残るものでした。ミサ後は和気あいあいと絵手紙を描いたり、昼食の食卓を囲んだりしましたね。皆で準備した「月替わりうどん」は時には、この味どうか

## 司教叙階を心からお祝い申し上げます

### 諏訪榮治郎司教様

な、と思うような時にも「おいしい、おいしい」と言ってお祈りして下さるので、食の細かい高齡信徒もつい、つられてお箸が進みました。そして終わると必ず「美味しかった、御馳走様、どうもありがとうございます」と云われるので皆の励みになりました。諏訪神父様、いや司教様の「ありがとう」は神様のお恵みの入った「元氣になる特効薬」でした。どうかこれからもお体を大切にされ、わたしたち高松教区民をお導き下さいますようにお祈り申し上げます。江ノ口教会信徒一同心よりのお祝いと感謝を申し上げます。

使徒ヨハネが「信仰」「共同体」の側面についてKJ法などを用いての共同作業、分かち合いが行われました。その席上、当時の諏訪神父様が明快に、解りやすく、会を進め、盛り上げて頂いたことを思い出します。あの時の分かち合いの手法や体験が各小



新司教様

## 新司教様と共に喜びをもって

今、この成果を親石として大切に、宣教会へ向けて共に準備に着手したところで、  
一歩を踏み出す新たな取り組みには、困難が伴いますが私たちは宣教会に向けて司教様と共にその過程を大切にしながら、その将来を見据えて「一歩一歩」私たちの教区づくり」と各小教区が目指す「教会づくり」に向けて共に助け合い、ともに勇気をもって取り組んでまいります。

阪神大震災後、罹災地区の信徒と共に困難な状況の中で、教区の再生計画を推進された後のご着任でした。その後、六年にわたり、高知地区協力宣教司牧のモデルとして、また司教様を助けて教区の再生と一致に向けて、教区民と共に主の道を歩まれ、この度は四国に留まっ、溝部司教様の志を継いで下さいました。叙階式のご挨拶で諏訪司教様が詩篇百三十九から「すべ

高松教区は、三年がかりで教区の一一致と再生を目指し、宣教大会に向けての歩

高松教区宣教師評議会 議長 新居田大作

2010年度 高松司教区 本部会計 資金収支決算書  
(自)平成22年4月1日 (至)平成23年3月31日

2010年度本部会計収支計算書について

経常収入の部			経常支出の部		
コード	科目	決算	コード	科目	決算
9601	給付金収入	24,709,327	9631	祭儀費	73,928
3101	教区給付金(A)	17,420,000	5101	祭儀費	73,928
3102	教区給付金(B)	7,289,327	9632	諸委員会活動費	2,825,826
9602	分担金収入	462,477	5201	生涯養成委員会	170,637
3201	小教区分担金収入	12,477	5202	広報委員会	755,780
3202	その他の分担金	450,000	5203	典礼委員会	120,621
9603	特定献金収入	4,346,151	5204	青少年宣教司牧委員会	977,311
3301	児童福祉の日献金	1,561,743	5205	人権を考える委員会	376,777
3302	聖地献金	176,011	5206	諸宗教対話委員会	258,890
3303	愛の献金	677,495	5207	エキュメニズム委員会	92,325
3304	広報の日献金	404,131	5208	教区女性委員会	73,485
3305	聖ペトロ使徒座献金	401,970	9633	宣教活動費	1,930,319
3306	世界難民移住移動者献金	417,992	5301	中央協議会分担金	490,000
3307	世界宣教の日献金	324,017	5302	広報活動費	34,650
3308	宣教地司祭育成日献金	382,792	5303	教区行事費	288,541
9604	一粒会献金収入	27,410,528	5304	研修費	1,004,689
3401	一粒会献金	27,410,528	5306	資料図書費	12,259
9608	特別献金収入	37,672,709	5308	諸会費	100,180
3801	祭式献金	8,314,000	9634	助成金支出	489,800
3802	特別献金収入	10,736,295	5401	小教区助成金	489,800
3803	一般特別献金	7,240,462	9635	援助事業費	24,497,068
3804	一般献金	11,381,952	5501	高松教区援助事業費	20,275,970
3805	共同司牧収入		5502	教皇庁援助事業献金	2,018,200
9610	墓地・納骨堂収入	5,338,518	5503	教皇庁献金	835,294
4001	非課税永代使用料	80,000	5504	中央協議会援助事業	1,367,604
4002	課税永代使用料	1,800,000	9637	人件費教区事務局等	32,224,394
4003	管理料収入	3,458,518	5701	本俸・諸手当	29,043,880
9613	事業収入	468,358	5703	法定福利費	3,180,514
4301	受取利息配当金	125,058	9638	福利厚生費	193,028
4302	施設利用料収入	343,300	5801	厚生費	3,800
9612	雑収入	803,980	5802	福利費	189,228
4201	課税雑収入	167,480	6940	維持管理費	5,737,489
4202	非課税雑収入	636,500	6001	保守管理費	1,339,536
			6003	水道光熱費	1,424,802
			6004	什器備品費	197,306
			6005	宮繕費	2,023,205
			6007	損害保険料	752,640
			9646	事務管理費	8,408,675
			6101	事務印刷費	920,157
			6102	消耗品費	90,719
			6103	電話・fax料	171,827
			6104	通信費	497,530
			6105	支払手数料	119,151
			6106	旅費交通費	2,060,857
			6107	公租公課	372,800
			6109	会議費	737,577
			6110	接待交際費	526,429
			6111	報酬手数料	1,585,500
			6112	諸会費	9,500
			6113	リース料	197,400
			6114	自動車諸費	1,065,427
			6115	修繕費	33,801
			6118	賃貸料	20,000
			9649	養成費	5,700,009
			6202	教育費	2,371,920
			6204	運営分担金	2,321,811
			6205	行事費	260,785
			6207	会議費	48,815
			6208	旅費交通費	638,410
			6209	養成援助費	58,268
			9660	雑損失	5,791,821
			6992	非課税雑損失	5,791,821
9614	経常収入計(A)	101,212,048	9641	経常支出計(B)	87,872,357

宗教法人カトリック高松司教区の会計は本部会計と小教区会計を合算したものです。小教区会計は26小教区の決算の数字を合算し、本部会計は教区事務会計、基金会計、司祭会計、一粒会会計、墓地・納骨堂会計、それに旧神学院会計の6会計を合算したものです。司教区会計の決算は10,861,698円の黒字となりました。今年から少し形を変えて、司教区の財務状況の報告をして参りたいと考えております。さしあたって広報の紙上をかりて、本部会計の収支をご報告いたします。

法人全体の収支は黒字がでましたが、本部会計だけをみれば3,658,556円の赤字が出ました。それにも拘らず司教区の収支が黒字になったのは、小教区会計14,520,254円の黒字に支えられたからです。

経常収入の部で一粒会献金、祭式献金、一般特別献金が大幅に収入増になりました。とくに一粒会献金は予算500万に対し2,741万、祭式献金674万に2,044万、一般特別献金740万に3,687万の献金を戴きました。これが本部会計を支えています。またこの数字は、青少年宣教司牧と召命促進に対する教区全体の意識が非常に高いことを示しています。一人の神学生を神学院に送りますと学費、生活費など200万を超える経費がかかります。また各司教区は神学生の有無に関わらず、神学院の運営分担金として230万円を中央協議会に納めます。

経常支出の部では祭儀費、諸委員会活動費、宣教活動費、維持管理費、事務管理費は予算内に収まりました。援助事業費は、480万の予算に対し、支出が2,449万と大幅な予算超過になりました。今年度からこうした支出はないと思います。

本部会計の赤字の主たる要因は経常支出の高松教区援助事業費の名目で、新求導共同体「道」のローマ本部に2千万円を寄付したことによります。2008年、RM国際神学院が閉鎖された際に、神学院の預金3千万円が司教区に移管されましたが、「道」の本部から、その返済を求められていました。今回、それを返済ではなく寄付という形で清算致しました。残額の資金は、今後の東かがわ市にある「霊性センター」(旧神学院)の管理経費等に充てて参ります。

できるだけ早い機会に小教区全体の財務状況について報告できるように準備しております。数字の上からも明らかなように、司教区全体は信徒の皆様からの浄財によって成り立っています。このことを銘記して運営に遺漏がないよう努めてまいります。

記 財務担当 村上康助

財務収入の部			財務支出の部		
コード	科目	決算	コード	科目	決算
9615	固定資産収入	2,465,915	9642	固定資産支出	17,210,589
4312	建物設備売却収入	395,915	7001	土地購入支出	0
4322	長期貸付金回収収入	2,070,000	7002	建物購入支出	0
9618	その他の財務収入	72,313,936	7005	建物付属設備支出	395,915
4406	立替金回収収入	7,692,407	7006	構築物購入支出	0
4401	仮払金回収収入	26,751,304	7009	車両購入支出	0
4403	預り金収入	8,247,252	7008	器具備品購入支出	130,160
4411	仮受金収入	29,622,973	7018	特別目的預金積立支出	16,684,514
9619	内部取引勘定	115,481,286	9645	その他の財務支出	78,151,074
4451	基金勘定収入	16,754,514	7106	立替金支出	7,827,107
4452	教区事務勘定収入	50,021,529	7101	仮払金支出	26,859,634
4453	一粒会勘定収入	24,750,523	7105	未払金支出	2,605,696
4454	墓地納骨堂勘定収入	59,480	7111	仮受金返還支出	32,569,231
4455	司祭会計勘定収入	23,895,240	7103	預り金支出	8,289,406
9616	資金調整勘定	0	9648	内部取引勘定支出	115,481,286
4502	期末未収金(一)	0	7151	基金勘定支出	2,070,000
9620			7152	教区事務勘定支出	65,032,757
9623			7153	一粒会勘定支出	24,533,809
9624			7154	墓地納骨堂勘定支出	59,480
9625			7155	司祭会計勘定支出	23,785,240
			9644	資金調整勘定	△ 2,488,000
			7202	期末未払い金	△ 2,488,000
9620	財務収入計(C)	190,261,137	9647	財務支出計(D)	208,354,949
9623	収入合計(E=A+C)	291,473,185	9651	支出合計(F=B+D)	296,227,306
9624	前年度繰越金(G)	344,097,664	10011	次年度繰越金(H)	339,343,543
9625	収入計(I=E+G)	635,570,849	10012	支出計(J=F+H)	635,570,849

# 2010年度カトリック高松司教区現勢調査報告

2010年12月31日現在

## 1. 信徒数概況

	香川県	愛媛県	高知県	徳島県	合計
面積	1,862.30 Km <sup>2</sup>	5,678.0 Km <sup>2</sup>	7,105.16 Km <sup>2</sup>	4,146.67 Km <sup>2</sup>	18,792.01 Km <sup>2</sup>
人口	1,012,755 人	1,457,950 人	772,401 人	796,897 人	4,040,003 人
前年度信徒数	1,575 人	1,690 人	790 人	705 人	4,760 人
信徒	1,510 人	1,643 人	773 人	703 人	4,629 人
司教・司祭	11 人	15 人	5 人	5 人	36 人
助祭	2 人	1 人	1 人	1 人	5 人
修道士	1 人	1 人	1 人	1 人	4 人
修道女	43 人	31 人	7 人	1 人	82 人
神学生	1 人	1 人	1 人	1 人	4 人
総数	1,566 人	1,689 人	786 人	708 人	4,749 人
前年度総数	1,633 人	1,735 人	709 人	803 人	4,880 人

## 2. 人員構成

司教	1 人
司祭	35 人
宣道	13 人
ドミニコ会	9 人
オブレート会	4 人
スペイン外国宣教会	
宣道修道司祭小計	26 人
助祭	2 人
神学生	1 人
修道士	1 人
修道女	55 人
聖ドミニコ宣道修道女会	14 人
松山修道院	12 人
北条修道院	5 人
新居浜修道院	19 人
坂出修道院	5 人
小豆島修道院	7 人
聖心の布教姉妹会	6 人
聖母被昇天修道会	12 人
神の母マリア修道院	1 人
コングレガシオン・ド・ノートルダム	
修道女小計	81 人
教区外司祭	16 人

## 3. 諸施設

(1) 教会	26 所
小教区	3 所
巡回教区	1 所
(2) 修道院	1 所
男子修道院	9 所
女子修道院	
(3) 教育施設	
聖カタリナ女子大学	616 人
聖カタリナ女子短期大学	207 人
愛光学園高等学校	663 人
聖カタリナ女子高等学校	1,024 人
愛光学園中学校	592 人
幼稚園 (23園)	2,631 人
(4) 社会福祉施設	
聖マルチン病院	196 床
聖マルチンの園	50 人
白百合荘特別養護老人ホーム	73 人
マリアの園	50 人
聖園天使園	75 人
聖園ベビーホーム	30 人
保育施設	32,120 人

## 4. 教区内組織

- ・教区顧問会
- ・司祭評議会
- ・教区宣道司牧評議会
- ・地区宣道司牧評議会
- ・小教区宣道司牧評議会
- ・経済問題評議会
- ・責任役員会
- ・修道女連盟
- ・典礼委員会
- ・生涯養成委員会
- ・青少年委員会
- 教会学校教師会
- カトリックボーイスカウト
- 中・高生会
- ・広報委員会
- ・人権を考える委員会
- ・諸宗教対話委員会
- ・エキュメニズム委員会
- ・女性委員会
- ・カトリック幼稚園連合
- ・レジオ・マリエ
- ・カトリック看護協会
- ・カトリック医師会
- ・クリスチャン・ライフ・コミュニティ
- ・マリッジ・エンカウンター

## 5. 信徒数動向

教会名	信徒数				洗礼		転出入		死亡	堅信	初聖体	求道者	教会学校		ミサ参加			結婚			
	男性	女性	総数	不明	幼	成	入	出					信	未	主日	復活	降誕	①	②	③	④
桜町	303	505	808	56	6	4	5	6	10	16	3	8	45	4	250	350	350	2		1	13
番町	65	102	167		0	1	3	5	2	2	1	1	5	2	50	70	140	1			
小豆島	24	40	64	0	0	6	0	1	10	1	0	1	0	0	20	23	49				
三本松	15	21	36		0	0	0	0		1	0	3	0	0	20	35	45				
坂出	63	133	196		2	1	2	2	4	0	0	10	0	61	55	150	175				
丸亀	41	102	143		5	4	1	2	4	7	3	3	21	0	75	90	200			1	
観音寺	8	25	33		0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	15	20	50				
善通寺	23	40	63		3	0	3	1	0	1	0	2	0	0	12	30	45				
香川県計	542	968	1,510	56	16	17	14	17	31	28	7	29	71	67	497	768	1,054	3	0	2	13
松山	309	550	859	84	15	12	9	7	11	11	5	14	52	0	298	470	530	2		2	
道後	53	109	162	7	0	1	7	5	1	0	2	1	3	0	50	90	200				1
今治	42	98	140	52	5	3	0	4	2	0	4	2	2	0	50	130	220				
新居浜	94	135	229	3	1	0	0	0	3	0	0	4	11	0	70	100	85				1
西条	17	37	54	2	0	0	0	0		2	0	0	11	13	21	50	60				
郡中	22	42	64		1	1	0	0	1	0	0	3	1	12	30	40	70				
八幡浜	14	48	62		0	1	1	4	3	0	0	0	0	0	20	40	50				
宇和島	17	45	62		3	1	2	0	6	1	1	2	0	0	31	70	100				1
伊予三島	5	6	11		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	9	13				
愛媛県計	573	1,070	1,643	148	25	19	19	21	27	14	12	26	80	25	574	999	1,328	2	0	3	2
中島町	159	275	434	56	1	6	7	2	2	5	5	1	7	0	75	210	235			2	4
江の口	75	119	194	8	0	0	0	6	1	0	0	56	2	38	60	150	165	1		1	
安芸	11	30	41		0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	7	16	12				
赤岡	10	21	31	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	16	24	24				
中村	8	65	73	0	3	1	0	0	2	0	1	2	0	0	15	50	90				
高知県計	263	510	773	64	4	9	8	8	8	5	6	59	9	38	173	450	526	1	0	3	4
徳島	136	258	394	1	1	3	11	2	3	3	2	8	42	7	80	165	215				1
鳴門	84	106	190	0	1	2	0	1	3	0	2	0	6	0	40	70	180				1
阿南	36	53	89	0	1	1	2	2	1	1	0	2	0	0	15	30	50				
池田	7	23	30		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	8	15	20				
徳島県計	263	440	703	1	4	6	13	5	7	4	5	10	48	7	143	280	465	0	0	2	0
教区総計	1,641	2,988	4,629	269	49	51	54	51	73	51	30	124	208	137	1,387	2,497	3,373	6	0	10	19
前年度	1,686	3,074	4,760	239	34	61	62	70	49	44	68	131	190	86	1,428	2,461	3,486	5	1	13	27

【結婚】 ①=カトリック同士 ②=カトリックと他のキリスト教 ③=カトリックと他の宗教 ④=非カトリック同士

私達ドミノコ会神の母マリア観想修道院は1971年、故田中英吉司教様の招きにより、盛岡ドミノコ会口ザリオの聖母修道院から創立されて、四国の地を踏みました。今から丁度四十年前のことです。以来、多くの方々の暖かい御支援、御指導をいただきながら、今日まで観想修道院の使命に生きて参りましたことを心から感謝申し上げます。

すでに御承知の通り、私達の修道院は、近年入会者もなく、又、会員の高齢化に伴い、現在のままの形で修道院生活を存続していくことが困難となつて参りました事から、当院を閉鎖し、瀬戸市の同じドミノコ会の聖ヨゼフ修道院と合併して、そこに移転し、新しい修道院生活をスタートさせることとなりました。

高松教区に招かれて、唯一の観想修道院としてその使命に生きるべく今日まで歩んで参りましたが、時代の流れに逆らえず、又私達の修道者としての証の乏しさも加わって、高松教区を去る結果となってしまいま

## 新しい旅立ち

ドミノコ会神の母修道院



した。40年の永きにわたり、司教様はじめ司祭、修道者、そして信徒の皆様、大変お世話になりました。心から感謝し厚く御礼申し上げます。この地で私達を育て下さった方々、そして恵まれた環境、祈りに結ばれた教区の皆様との友情、そして40年の歴史を閉じる神の母マリア修道院、本当に残念で去り難い思いに駆られますが、修道院生活の将来に夢と希望を託して、神のみ旨のうちに新しい出発を致したいと念じております。私達の故郷ともなった高松教区、又皆様にお会いできます日を希望しながら、感謝と祈りのうちに、お別れの言葉とさせていただきます。本当に有りがとうございました。

院長 阿部喜代子、姉妹一同  
 移転先 〒489-0871 愛知県瀬戸市東長根町92 TEL 0561-21-4557  
 ドミノコ会 聖ヨゼフ修道院

その分析結果を踏まえ管区司教団としての考え方が近く詳しい方針となつて顕わされることになる。



『呼びかけを受け、時の声を聴く司祭 ― 召命の現実から ―』  
 カトリック大阪管区 第九回司牧者研修会 大阪梅田サクラ・ファミリア教会  
 昨今の教会の大きな問題である司祭召命の減少に向き合い、そこに焦点を当て、名古屋、京都、大阪、広島、高松の五教区からなる大阪教会管区から司祭百三十名と司牧に關つている修道士、修道女、信徒二十名、延べ百五十名が集い司牧者研修会が行なわれた。これに先立って管内青年の「召命に關するアンケート」の分析や提言等を参考に今後の展望を十四の分科会で探り、これを資料として各教区毎、実情に即した啓蒙活動を考える研修会となった。



## 大分教区民歓びのうちに 浜口末男司教誕生

浜口末男大分教区司教の叙階式が六月二十六日、別府市のピーコンプラザで行われた。新司教は溝部脩司教の高松教区着座に伴い司教の招聘に応え長崎教区から高松教区に來られ、六年の間、信徒の司牧に当たつて来た。台風が心配されていた叙階式当日は恵みの日和となり、当然の如く、長崎から長崎教区への歓びと誇りを表わすように想像を超える多くの司祭、シスター、信徒が駆け付け叙階式会場を埋め尽くした。高松教区からも多くの信徒が参加し大分教区民と歓びを共にした。

## マルチン病院の宣教女 香川 聖ドミニコ宣教修道女会 Sr. 曾我部 恵美子さん (91)

1949年、聖マルチン病院が創立され、シスター・イサベル曾我部は修道誓願宣立後、すぐに初代病院長になるようにとの任命を受けました。入会前に医師としての経験はあったものの、修道者となるために医師の道を捨て、まだ修練中であつたシスターは、その決定に驚き、また不安でいっぱいだったそうです。しかし、当時ちょうど日本を正式訪問中であつた修道会の総長から、「一人の人でも救われるなら、病院設立の意味はあるのです」と励まされ、神様の不思議なお導きに信頼してその重責を受けたといひます。それから2008年まで、病院長、病院管理運営委員長と長距離ランナーのようにその60年間を走り続けました。そのせいか、今でも体はピンピン、足取りスタスタ、90歳を超えているとは思えない驚くほどの元気さ。医師として自ら、現代重視されている予防医学実践のお手本となつています。『医者の不養生』という諺は、シスター曾我部には全く当てはまりません!!  
 今でも訪問診療を担当し、病室をしばしば訪れ、患者さまのお話をじっくりと聞いております。水曜日には有志グループの聖書勉強会を主催。『イサベル先生』と地域の方々から親しまれているシスター曾我部は、聖ドミニコのように疲れを知らぬ宣教者です。 文責 Sr. 山内留美子



『ともに歩んでください、サンタマリアよ』パスの中にみんなの歌声が響いていた。『溝部司教様と行く巡礼の旅』福者ペトロ・パウロ・ナバロ神父の足跡を訪ねて』が五月二十五日〜二十七日行われた。愛媛をはじめ東京からも参加した信徒ら約三十人が溝部司教に導かれて大分、島原を巡った。ナバロ神父は四百年前のキリシタン時代に松山市の道後で宣教し、四国で初めての教会を建てた。のち長崎で殉教し、列福された。今回、道後ゆかりの神父に学ぶため巡礼が企画された。

## 福者ナバロ神父の苦難しのぶ 溝部司教と大分、島原を巡礼

初日の二十五日、松山市をバスで出発した一行は大分教会でミサに与った。説教で溝部司教は『大分のキリシタンたちは迫害で司祭がいなくなつても自分たちで強い共同体を作つて信仰を守つていた。四国の信徒も司祭依存ではなく、自分の教会をどうしたいのか自分で考えてほしい』と語つた。市内の遊歩公園を歩いた後、キリシタン時代にナバロ神父が拠点にして活動していた市郊外を訪れた。同市葛木地区には「キリシタン殉教記念公園」があり北村西望制作の記念碑の前で、一六六〇年から八〇年にかけて六百六十人余の信徒が捕らわれ、多くの殉教者が出た「豊後崩れ」の跡をしのんだ。ナバロ神父は厳しい迫害下の豊後でコンフラリア(組、信心会)の構築に力を入れ、農民たちが中心になって強固な教会組織を作つていた。殉教や追放で司祭たちがすべていなくなつて約四十年後になつても、これだけ多くのキリシタンたちが信仰を守り続けていたことはナバロ神父の働きの結果だったといえる。この後ナバロ神父が隠れていたといわれる竹田市のキリシタン洞窟礼拝堂を訪ねた。二十六日は島原半島へ。二十七日は雲仙地獄を見学。蒸気の吹き上がる殉教碑の前で、溝部司教はパウロ内堀作右衛門らの壮烈な殉教の模様や命をかけて教を守つた人々の心意気を語つた。雲仙教会では川上栄治神父(道後教会)の司式でミサに与る。この後、島原城のキリシタン展示などを見て帰途に着いた。若き宣教者として道後教会を建てたナバロ神父の苦難に満ちた潜伏宣教教師としての苦勞をしのび、殉教者の生き様に学ぶ三日間の巡礼だった。



ナバロ神父が火刑によって殉教した今村刑場跡で語る溝部司教(中央)

六六二年十一月にナバロ神父が日本人の伝道師ら三人の信徒とともに火刑によって殉教した今村刑場跡を訪れた。『供養塔』と彫られた石碑の前で溝部司教から話を聞き、ナバロ神父の潜伏宣教教師としての苦難の時を思いながら全員で祈りを捧げた。ナバロ神父は激しい迫害の中で日本のキリシタンたちの信仰を励まし守るために自分を捧げつづけて死んでいったのだ。この後、殉教者を記念した島原教会でミサに与った。司式は高松教区で働き、六月に大分教区の司教となつた浜口末男被選司教が行つた。小雨の中、一行は原城跡へ。巡礼者たちは農民ら三万七千人が殺されたという島原の乱の現場を訪れ感無量の面持ち。溝部司教からキリシタンがほとんどだったという人々が砲弾から十字架やロザリオの玉を作つていたこと、メダイを口に含んだままの骨が発掘されたことなど、信仰生活の中でこの戦いを耐え抜いていた悲惨な様子を聞かされ、この人達をしのびながら全員で聖歌を歌つた。

**医療法人社団聖心会 阪本病院**  
 看護師・准看護師 随時募集中です!  
 院内保育園開設  
 ご連絡をお待ちしています。  
 連絡先(事務局) 0120-770-315

**社会福祉法人 白百合福祉会**  
**特別養護老人ホーム 白百合荘**  
 特別養護老人ホーム 白百合荘  
 白百合荘 デイサービスセンター  
 理念 『共に生き、共に楽しむ』  
 老人介護支援センター 白百合荘  
 連絡先 0877-62-2998

私たちは、自分を創造しようとする子どもをまなび、護りましょう  
**暁の星学園**  
 鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園  
 阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園

### 医療のともしび (27) いのちへのまなざし

カトリック看護協会で学んだことの中に忘れられないことがあります。10年前、「いのちへのまなざし」というテーマで一年間学びました。出生前診断と障害者、脳死と臓器移植、安楽死について、ヒト胚の研究利用・人間のクローン・遺伝子治療などについて学び、「いのちはかけがえないもの」だということをあらためて知り、病む人のそばにいて、看護師としてどのようにかわればいいのか学びました。(「いのちへのまなざし」に興味ある方はカトリック中央協議会発行「いのちへのまなざし 二十一世紀への司教団メッセージ」をご覧ください。)

いのちにかかわるものとして、つい最近、ホットな出来事を知りました。「生命尊重ニュース」のパンフレットに東日本大震災で被災されたある妊婦さんが、「夫が職を失いましたが 円ブリオ基金のお陰で無事出

産することができました」との記事を見つけたことです。一つの命が救われたのです。坂出教会にも 円ブリオ基金のかわいらしい募金箱があります。一元玉の小さな善意が赤ちゃんの命を救っていたことに改めて驚くと共に誇りを感じています。

私は、4月下旬にポーランドのアウシュビッツ収容所を訪れました。同行して下さったサレジオ会のある神父様のお話に、小さな尊い命の誕生の対極で、「大勢の人を殺したガスを作った会社は、今は経口避妊薬を作っている。」と伺いました。かけがいのない命、神様からいただいた命を人間の都合で抹殺していいのでしょうか。その会社が経口避妊薬を作らないでほしいと切に願っています。

自分の看護に限界を感じていたころ、寺本松野の「看護は祈り」というすばらしい本に出会いました。まさに「看護は祈り」そのものだと思います。

日本カトリック看護協会 高松支部 綾 保子

### 教区スケジュール

- 8月
- 4日(木) 聖ヨハネ・ヴィアンネ
  - 5日(金) 広島平和行進
  - 6日(土) 主の変容 日本カトリック平和旬間(～15日)
  - 7日(日) 年間第19主日 平和ミサ WYD・Aコース出発(～23日)
  - 14日(日) 年間第20主日
  - 15日(月) 聖母被昇天「高松教区司教座献堂記念日」 WYD・Bコース出発(～24日)
  - 20日(土) 第37回教会学校教師会 徳島教会
  - 21日(日) 年間第21主日
  - 27日(土) <佐々木光雄師命日>
  - 28日(日) 年間第22主日
- 9月
- 4日(日) 年間第23主日
  - 6日(火) 司祭評議会 10:00
  - 8日(木) 聖マリアの誕生
  - 9日(金) 宗教者平和懇話会 14:00
  - 10日(土) 日本205福者殉教者
  - 11日(日) 年間第24主日
  - 14日(水) 十字架賞賛
  - 18日(日) 年間第25主日
  - 19日(月) 敬老の日
  - 23日(木) 秋分の日
  - 24日(土) 深堀敏司教命日
  - 25日(日) 年間第26主日 「世界難民移住移動者献金」
  - 28日(水) トマス西と15殉教者
  - 30日(金) 宣教司牧評議会役員会 13:00

二〇一一年十一月二十三日(水)  
私たちの再スタート・高松教区宣教大会  
桜町司教座聖堂

に生かす演奏で、二箇所共に二百名以上の大入りと、盛況でした。ご来場下さった皆さま、ありがとうございました。

演奏終了後、金神父様は外国の教区の神父様でありながら一粒の趣旨をしっかりと受け止めて、「私は、演奏家としてではなく、一司祭として参りました」の言葉の通り、神父様の奉仕に徹した粋なお働きに深く感謝しております。お忙しい中ご尽力下さった多くの方々に厚く御礼申し上げます。今後も一粒会を、引いては神学生一人一人を、支えて頂ければ幸いです。

高松教区一粒会

### 金神父の演奏に感動

一粒会オルガンコンサート



桜町教会の聖堂でオルガンの演奏を聴く信徒ら

五月二十一日桜町司教座聖堂、十二日聖カタリナ大学のホールで高松教区一粒会主催の韓国釜山教区金仁煥神父様によるパイプオルガンコンサートが開かれました。それぞれ設置されたオルガンの規模には差はありましたが、双方を最大限



奏者 金仁煥神父

### 東日本大震災救援関連事項

#### 高松サポートセンター立ち上げ成る

高松教区は仙台教区と被災された人々との連帯と日本カトリック教会としてキリストの愛と癒しを世界の人々と共に届けるために支援センターを立ち上げました。センター長は桜町教会担当司祭レナト神父です。

#### 大阪教会管区震災対策会議

東日本大震災に関して日本司教団の決定を受け、7月4日、サクラ・ファミリア教会において震災支援についての管区会議を開催し、管区としての支援の大枠を決定した。

#### 東日本大震災支援全国担当者会議 (オールジャパンネット)

7月11日～12日、仙台教区サポートセンターにおいて全教区の震災担当者が一堂に集まりこれからの息の長い支援の在り方や、ニーズにどう応えることができるかなど、可能性を探った。その後各教会管区グループに分かれ岩手、宮城、福島各被災地の視察へと向かった。

今年(誤「治」→正「治」)は、折りを忘れるな。今後、校正には更なる注意を払ってまいります。

広報委員会一同

### 編集後記

今年(誤「治」→正「治」)は、折りを忘れるな。今後、校正には更なる注意を払ってまいります。

広報委員会一同

### ホッとする場所づくりも大切



被害を受けた街の一角。道路には瓦礫。

五月十一日から十六日まで、東北地方で震災ボランティアに浜口司教様、神学生二人、大学生一人で参加しました。初日は溝部司教様も同行して下さいました。私達は、仙台教区サポートセンターに通じて、岩手県釜石教会ボランティアセンターに派遣されました。釜石市は、沿岸部に位置し、津波による甚大な被害を受けた所です。街の商店街の中にはほぼ壊滅した所もあり、信号も多くが動いていません。



見渡す一面、瓦礫の海

そのような被災地域で、信者さんに限らず様々な背景をお持ちのボランティア仲間と寝食を共にしながら仕事に励んでいました。ペーシングを常に支えて下さっているスタッフの皆さまのお陰で、特に事故もなく活動出来ました。各自希望を出して日々の作業場に分かれるのですが、仕事は瓦礫撤去に限らず実に多岐に亘っていました。近隣の病院の清掃や保育園の慰問の他、教会を訪れた地元の方とお話するという活動もありました。そして、夜には、ベースのメンバー全員で一日の作業を振り返りました。信者の方は少数でしたが、被災地に思いを寄せ祈る雰囲気のある分かち合いました。最後に現地を教わったことを二点お伝えして報告とします。一つは、被災地のニーズの多様性です。瓦礫や泥を除く作業も急を要する課題でしたが、実はそれ以外にも、例えば地元の方がほっとする場所を設ける(ベースには喫茶コーナーがあります)ことも非常に大切な仕事です。現状を踏まえ、より一層の連携が求められているということ。日常生活を離れてボランティアに従事するのは、多くの人にとって

なく活動出来ました。各自希望を出して日々の作業場に分かれるのですが、仕事は瓦礫撤去に限らず実に多岐に亘っていました。近隣の病院の清掃や保育園の慰問の他、教会を訪れた地元の方とお話するという活動もありました。そして、夜には、ベースのメンバー全員で一日の作業を振り返りました。信者の方は少数でしたが、被災地に思いを寄せ祈る雰囲気のある分かち合いました。最後に現地を教わったことを二点お伝えして報告とします。一つは、被災地のニーズの多様性です。瓦礫や泥を除く作業も急を要する課題でしたが、実はそれ以外にも、例えば地元の方がほっとする場所を設ける(ベースには喫茶コーナーがあります)ことも非常に大切な仕事です。現状を踏まえ、より一層の連携が求められているということ。日常生活を離れてボランティアに従事するのは、多くの人にとって



援助物資受付中

### 詩 小さなお手

小さなお手を合わせて祈る  
マリア様 マリア様  
ほくをゆるして  
ほくね 今日ね  
クンちゃんの  
悪口を言っちゃった  
小さなお目をつぶって祈る  
マリア様 マリア様  
ほくをゆるして  
ほくね 今日ね  
母さんとけんかしちゃった  
小さなお首をかき上げて祈る  
マリア様 マリア様  
ほくをゆるして  
ほくね 今日ね  
ミヨちゃんを  
泣かしちゃった  
小さなおひざをついて祈る  
マリア様 マリア様  
ほくをゆるして  
ほくね あしたからね  
きつといいこになるよ

神を親想し、その実りを人々に伝えよ  
聖ドミニコ宣教修道女会

食べる青唐辛子 絶賛好評発売中!  
株式会社 サンコウフーズ  
〒761-4421 香川県小豆郡小豆島町富羽甲 2204  
TEL 0879-82-0430 FAX 0879-82-1102  
URL http://sankou-foods.com  
E-mail shodoshima@sankou-foods.com

思いやりの心、感謝と優しさ、尊敬する気持ちを表現できる子どもを目指して  
学校法人 聖母学園 観音寺聖母幼稚園  
〒768-0066 香川県観音寺市昭和町一丁目6番57号  
TEL 0875-23-0004 FAX 0875-23-0171  
E-mail:kanonjiiseibo@shirt.ocn.jp